二〇二五年度　三田学園中学校入学試験問題

前期Ａ日程　国　語

〈注意〉各問題の解答はすべて解答用紙に書き入れなさい。

※出題の都合上、漢字にふりがなをふる、漢字をひらがなにするなど、本文の一部に改変を行っています。

※特に指示のない限り、字数制限のある問題では句読点や記号も一字として数えます。

受験番号	

一、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

章の冒頭で記したように、「単なる野菜」であるはずのフランス産ホワイトアスパラガスは、1キロ5000円以上の値段で販売されています。ホワイトアスパラガスの瓶詰めは比較的有名ですが、瓶詰めではありません。生のホワイトアスパラガスを空輸しているのです。嘘だと思われた方は「フランス産　ホワイトアスパラガス」という検索ワードでGoogle検索してみてください。1キロ5000円どころか6000円以上の商品も普通に売っています。

①どうしてフランス産アスパラガスは、「単なる野菜」であるにもかかわらず、こんなに高価でも売れるのでしょうか？

農業の事情に詳しくない方は、「日本では作れないからだろう」と思うかもしれませんが、ホワイトアスパラガスは国内でも栽培できます。ホワイトアスパラガスは、一般的な緑色のアスパラと品種が異なるのではありません。日光を遮断することで光合成を阻害し、緑化しないように栽培しているだけです。春先に出回る白いウドと全く同じ原理であり、栽培方法としてはそれほど特殊な技術ではありません。私の友人にも、ホワイトアスパラガス農家をしている人がいます。

では、どうして日本人は国内調達できるホワイトアスパラガスを、わざわざフランスから航空燃料を使用してまで輸入しているのか。どうしてこんな値段でも売れるのか。一般のスーパーに出回ることは滅多にありませんが、国内産は高くてもこの4分の1程度の価格が普通なのです。近年は高価なホワイトアスパラガスも少しずつ増えてきましたが、②まだまだ試験的な試みであるという印象です。

すぐに考え得る理由は、「日本産よりも美味しいから」でしょうか。しかし、日本産農産物の美味しさや品質の高さは、衆目の一致するところです。ホワイトアスパラガスに限って、味がフランス産に著しく劣るとは考えられません。しかもアスパラは品質劣化が比較的早い品目なので、鮮度の良さが美味しさを決める大きな要因でもあります。わざわざフランスから輸入しているホワイトアスパラガスの鮮度が、日本産の鮮度を上回ることは基本的にはないはずです。ですから、日本産とフランス産で、その価格差に値するような「美味しさの違い」があるとは思えません。

実は、この価格差の理由はそんなに難しいことではないのです。理由は「フランス産であること」ただそれだけ。フランス産であるからこそ、1キロ5000円ホワイトアスパラガスという商品は成り立つのです。

一般的には、食品の商品価値は美味しさや見た目の美しさ、栄養分などの機能面にあると考えられがちです。しかし「フランス産」であるという事実に、美味しさや機能性に関する商品価値は存在しません。それとは関係なく、「フランス産」という事実それ自体が商品価値を持つのです。

フランスは言わずと知れた芸術大国であり、美についての世界的な中心地とみなされています。フランスには、その国旗を見るだけでオシャレでハイセンス、かつ高級なイメージを呼び起こす作用が存在します。ホワイトアスパラガスの「フランス産」という情報には、このようなイメージがまとわりついているのです。

農産物に限らず、工業製品においてもフランス製の商品には、商品を消費すること、保持して維持し続けることに強い満足感や優越感を生み出す効果が存在しています。このような情報の価値のことを「記号的価値」と言います。

記号的価値を持った商品の代表格は高級ブランドです。フランスの芸術性や美のイメージをまとった高級ブランドと言えば、エルメスやルイ・ヴィトンが有名です。しかし、これは必ずしもフランスに限った話ではありません。例えば、イギリスには「紳士の国」というイメージがあるはずですが、このようなイメージを引き受けているのが、イギリス王室御用達の高級ブランド、ダンヒルです。イギリス紳士のイメージをまとったダンヒルの商品価値とは、男としてのカッコよさ、（　A　）「ダンディズム」を与えてくれそうなところにあります。ダンヒル商品の価値の源泉は「機能性」にはない。収納力や使いやすさといったビジネスバッグの機能、着心地や耐久性といったスーツとしての性能ではなく、働く男性たちにダンディズムをもたらす記号性にこそあるのです。

では、どうして「ダンディズム」のような③形のない概念[注1]が商品性を持ち得るのか。それは、現代社会においては、人びとが機能性や必要性によって商品を購入する動機と機会がどんどん減っているからです。

例えば車。機能性だけを求めるなら動けばなんでも良いはずです。（　B　）、各メーカーは毎年のように新しいデザインの車種を投入しています。我々が車を選ぶ際、燃費や加速の良さ、近年では自動運転技術や電動化等の機能面も考慮しますが、それと同じか、もしかしたらそれ以上にデザインを気にしているからです。

都心部の狭い道を走るなら、小回りのきく軽自動車や小型車の方がずっと便利なはず。なのに、都心部の高級住宅地にはＢＭＷやベンツ、ポルシェなどの外車、それも近年はＳＵＶタイプの大型車が目立ちます。自分と他の人との違いを明確にし、自分の独自性を演出したり、特別感を享受したいという欲求に突き動かされることで消費行動が行われるのが現代社会なのです。そのような欲求を商品に投影させた存在がブランドです。（　C　）、ブランドにおいては消費者の持つ商品に対するイメージが重要になるのです。

エルメスやダンヒルのような高級ブランドだけでなく、廉価[注2]な商品ブランドであっても同じような効果を持っていますが、他の人との差異を演出するためには高級ブランドの方が手っ取り早い。なぜなら、そこには圧倒的な価格差があって、普通の人にはおいそれと購入できないからです。エルメスの鞄は、本当に高級なものには１０００万円近い価格がつけられることがあります。１０００万円もする鞄を普通の人が買えるわけがありません。エルメスを持てるということは、それだけで「金持ち」「成功者の証」となるのです。

高級ブランドにおいては、商品が高い品質を持つから高い価格になっている、という構造にはなっていません。商品の品質は、高級ブランドの本質ではありません。話は逆で、「そもそも商品価格が高い」ということこそが出発点で、④高級ブランドをブランドとして機能させる（　D　）なのです。

（野口憲一『「やりがい搾取」の農業論』より）

注１　概念…おおよその意味。
注２　廉価…値段が安いこと。

問一　――部①「どうしてフランス産アスパラガスは、『単なる野菜』であるにもかかわらず、こんなに高価でも売れるのでしょうか？」とありますが、その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　日本ではホワイトアスパラガスは栽培できないから。
イ　輸送にかかる経費が高いことを消費者が理解しているから。
ウ　フランス産は日本産よりも風味豊かな品質であるから。
エ　フランス産というだけで消費者は価値があると思い込むから。
オ　値段の分だけ美味しいアスパラガスを食べようとするから。

問二　――部②「まだまだ試験的な試みである」とありますが、「試験的な試み」とはここではどのようなことですか。二十五字以内で答えなさい。

問三　（　A　）～（　C　）に入る言葉として最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上用いてはいけません。

ア　すなわち　イ　それとも　ウ　ですから　エ　さて　オ　しかし

問四　――部③「形のない概念が商品性を持ち得るのか」とありますが、

（1）「形のない」ものに余計にお金を出そうとするのは、その商品に何があるからですか。本文中から五字でぬき出して答えなさい。

（2）（1）で答えたものの具体例として**適当でないもの**を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　有名な菓子（かし）職人が作ったケーキというだけで美味しいと思うこと。
イ　新開発の電化製品は今までのものよりも高品質であると思うこと。
ウ　正確に計測した性能を表示した車の説明書を見て高品質であると思うこと。
エ　商品に「高級ブランド」の名前が付いているだけで高品質だと思うこと。
オ　洗練されたイメージの地名を商品名に入れると高品質であると思うこと。

問五　――部④「高級ブランド」とありますが、人々が高級ブランド品を買うのはなぜですか。五十字以内で答えなさい。

問六　（　D　）に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　目　イ　腕（うで）　ウ　骨　エ　頭　オ　肝（きも）

二、地方育ちの「私」は、東京の大学に合格してアパートで一人暮らしをすることになった。次の場面は、「母」が引っ越しの手伝いにアパートに来ている場面である。以下の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「片づけ、ひとりでできそうだから、もう帰っていいよ」

私は言った。①母はしばらく無言で部屋を眺めまわしていたが、

「ねえ、引っ越し蕎麦食べにいこうか」と言う。「蕎麦屋なんかあるかな」つぶやくと、

「蕎麦屋なんてどこにだってあるわよ、ここだって日本なんだもの」なんだか②とんちんかんなことを言い、母は申し訳程度の玄関で靴を履いている。私もいっしょに部屋を出て、おもちゃみたいな鍵を鍵穴にさしこんだ。

駅へと続く道が商店街になっている。ちいさな町とはいえ、さすが東京である。私たちの町の商店街とは桁違いににぎわっている。総菜屋、スニーカー屋、レンタルビデオ屋、ゲーム屋、洋服屋、レストラン、喫茶店、雑貨屋。母はきょろきょろと目を走らせている。ときどき立ち止まり、私のコートの袖口を引っぱる。「ねえ、あのセーター特売よ、五千円しないなんて、嘘みたい」「なんだか洒落た喫茶店よねえ。さすが東京って感じ」「あのラーメン屋さん、雑誌の切り抜き貼ってあるけど、雑誌に載るような有名店なのかしら」「ここ、いいじゃない、二十四時間営業のコンビニ。夜にお醤油やお味噌切れても買い足せるし」華やいだ声を出す。

母の言うせりふはすべて私を苛つかせた。あんなところにこれからたったひとりで住むなんて、かわいそう。そんなふうに同情されている気分になった。本当に自分が気の毒な娘であるような気分になった。

「やめてよ、田舎者まるだしみたいでかっこわるい」

だから私は投げ捨てるように言い、袖口をつかむ母をふりきるようにして商店街をずんずん歩いた。こんな商店街のセーターなんか褒めないでよね。十一時に閉店するコンビニなんてうちのほうにしかないんだよ。雑誌の切り抜き貼ってるからっておいしい店とはかぎらないんだから。心のなかで悪態をつき続けた。

駅近くにあった蕎麦屋で、母と向き合って天ぷら蕎麦を食べた。びっくりするくらいまずかった。うちの近所の村田庵だってもっとましな蕎麦を出す。なのに母ときたら、おいしい、おいしいと連発する。「やっぱり東京の店は違うわね」なんて言う。私はむっつりとして、半分残して箸を置いた。もったいないと言い、私の残したぶんまで食べる母に、苛立ちを通り越して嫌悪まで覚えはじめる。

蕎麦屋を出る。春特有のふわふわした陽射しが商店街を染め抜いている。

「③じゃあここで、もう帰っていいよ、おかあさん」私は④ぶっきらぼうに言った。

「でも、まだ荷ほどきもしてないじゃない」

「あれっぽっちの荷物、私ひとりだって、すぐ片づいちゃう」

「掃除も、もう一回したほうがいいんじゃない」

「さっきしたばかりじゃないの」
「だけど、台所はなんだか汚れが落ちなかったし」
店先で言い合う母子を、通りすがりの人がちらりと眺めていく。
「もういいって」強い口調で私は言った。本当のことを言うと、母といっしょに⑤あのしょぼけたアパートに帰りたかった。何度でもいっしょに掃除をしてもらいたかった。あの狭苦しい台所で、夕食の支度をしてほしかった。魚の煮つけ、切り干し大根、たらこと葱の入った卵焼き、家のテーブルに並ぶような夕食。そして、布団を並べていっしょに眠ってほしかった。苛立った私の八つ当たりを、とんちんかんな言葉で受け流してほしかった。けれど今日泊まってもらったら、明日も泊まってもらいたくなる。私は今日から、たった今から、ひとりで、あの部屋で、なんとか日々を過ごしていかなくてはならないのだ。
「⑥もういいって。帰って」私は言った。泣きそうな自分の声が耳に届く。
「あっ、いやだ、おかあさん、忘れてた」
突然母が素っ頓狂な声で叫ぶ。
「何、忘れもの？」
「⑦そうじゃないの、あのね、鍋。鍋を用意してあげるのを忘れてた」
母は言い、すたすたと商店街を歩き出す。⑧コートを着た母のうしろ姿が、陽をあびてちかちかと光る。私はちいさな子どものように、母のあとを追う。
「鍋なんかいいよ」
「よくないわよ、鍋がなきゃなんにもできないじゃないの。あんたもね、料理くらい覚えなさい。フライパンひとつでできるものなんか料理とは言わないの、きちんと鍋を揃えて、煮炊きをしなさいよ」
母は得意げに言いながら、店先に茶碗を並べた雑貨屋に入っていく。店のなかは、食器や鍋や、ゴミ箱や掃除用品、ありとあらゆるものが所狭しと並んでいた。母は通路にしゃがみこみ、片っ端から鍋を手に取っていく。「これはなんだか重いわね」「これじゃあいかにも安っぽい」「こんなに馬鹿でかくても困るしね」ひとりごとをつぶやきながら、鍋をひっくり返したり片手で揺すってみたりしている。私は母のわきに突っ立って、隅に整然と並んでいるル・クルーゼ[注1]の鍋を見ていた。高校生のころ、女性誌で見て、ひとり暮らしをしたら買いたいと決めていたル・クルーゼである。色も橙色と決めていた。けれど、これがほしいと母にはなんだか言えなかった。こんなもので料理なんかできませんと母は言うような気がした。実際、母の作るもの、母の作ってきたものは、ル・クルーゼとは⑨不釣り合いだった。あのアパートに橙のル・クルーゼがあっても、なんだか滑稽[注2]だとも思った。
「これがいいわ」
思いきり立ち上がった母ははずみでよろけ、体を支えようと咄嗟に棚に手をつき、積んであった鍋がものすごい音を出して転がり落ちる。店内

にいた客が陳列棚から首だけ出してこちらを見ている。
「やだ、もう」顔が火照るのを感じながら私はつぶやく。
「やだもうはこっちのせりふよ」母も赤い顔をして、転げ落ちた鍋を懸命に元に戻している。「大丈夫ですかあ」店員が歩いてくる。
「あらまあ、ごめんなさいね、あのね、この子、春からこの先のアパートでひとり暮らしをするの、それで鍋と思ってね、選びにきたんだけど、やだ、こんなにしちゃって。大丈夫かしら、傷なんかついてない？　えーと、私が選んだのはどれだったかしら、しょうがないわねえ」
おばさんらしい饒舌[注3]さで母はべらべらとしゃべり、さっき選んだ鍋を店員に押しつけるように渡している。鍋は大、中、小と三つあった。
「三つもいらないんじゃない」
「いるわよ、ちいさい鍋で毎朝お味噌汁を作りなさい、大きい鍋は筑前煮とか、あとお魚を煮るときにね。中くらいのは南瓜とか里芋とか、そういうちょっとしたものを煮るのに便利だから」まだ顔の赤い母は念押しするように説明しながら、バッグから財布を取り出している。
「この子ね、はじめてひとり暮らしするんですよ。ご近所だし、何かあったらよろしくお願いいたしますね」
母は若い店員に向かって頭を下げ、鍋を包んでいた店員は困ったように私を見、かすかに会釈した。
母とは店の前で別れた。アパートにいって荷ほどきをすると母は言い張ったが、ひとりで大丈夫だと私はくりかえした。
「そうね。これからひとりでやっていかなきゃならないんだもんね」
母は自分に言い聞かせるようにつぶやいて、幾度か小刻みにうなずくと、顔のあたりに片手をあげて、くるりと背を向けた。ふりかえらず、よそ見をすることなく、陽のあたる商店街を歩いていく。母に渡された重たい紙袋を提げ、遠ざかる母のうしろ姿を私はずいぶん長いあいだ眺めていた。⑩母のうしろ姿はあいかわらず陽にさらされてちかちかと光っている。カートを引いて歩く老婆、小走りに駅へ向かうスーツ姿の男、幼い子どもの手を引く若い母親、いつもと変わらぬ町を歩く人々の合間を、母はまっすぐ歩いていく。雲のない空の下で商店街はふわふわと明るい。この光景を、ひょっとしたら私は一生忘れないかもしれない、ふいにそんなことを思った。そんなこと思ったら急に泣き出しそうになった。ひとりになって泣くなんて子どもみたい。私は母が向かう先とは反対に走り出す。かんかんと音をさせてアパートの階段を駆け上がり、紙袋の中身を取り出した。いつのまに母が頼んだのか、それとも店員が気をきかせたのか、大中小、三つの鍋はプレゼント用に包装されていた。でこぼこの包装紙のてっぺんに、ごていねいにリボンまでついている。みず色のリボン。ひとりきりになったちいさな部屋のなか、思わず私は笑ってしまう。

（角田光代「鍋セット」より）

注1　ル・クルーゼ…フランスのキッチン用品のメーカー。
注2　滑稽…おもしろおかしいこと。ばかばかしくておかしいこと。
注3　饒舌さ…よくしゃべる様子。

問一　――部①「母はしばらく無言で部屋を眺めまわしていたが、『ねえ、引っ越し蕎麦食べにいこうか』と言う」とありますが、このように言った「母」の気持ちとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　娘一人で出来るぐらいに片付いたので、とりあえず食事をしよう。
イ　まだまだ片付けに時間がかかりそうなので、腹ごしらえをしよう。
ウ　いよいよ娘と離れ離れの生活になるので、お別れの儀式をしよう。
エ　娘が一人暮らしを始められるようになったので、お祝いをしよう。

問二　――部②「とんちんかんな」・④「ぶっきらぼうに」の意味として最も適当なものをそれぞれ次の中から選び、記号で答えなさい。

②「とんちんかんな」
ア　身勝手な　　イ　ゆかいな　　ウ　的外れな　　エ　個性的な

④「ぶっきらぼうに」
ア　そっけなく　　イ　大声で　　ウ　真剣に　　エ　いきなり

問三　――部③「じゃあここで、もう帰っていいよ、おかあさん」とありますが、「私」がそのように発言した理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　母がごく普通の東京の街なみをほめすぎるので、意図せず地方出身者であることが周囲に知られ恥ずかしく思ったから。
イ　東京の食事が口に合わずいらいらしていたが、自分に嘘をついてまで東京のことをほめる母に嫌気がさしてきたから。
ウ　娘の一人暮らしの不安を和らげようと気配りをしてくれる母に対して、余計な同情をしないでほしいと思ったから。
エ　あこがれの一人暮らしを一刻でも早くはじめたいのに、あれこれと指示をする母が邪魔者のように思えてきたから。

問四　――部⑤「あのしょぼけたアパート」とありますが、具体的に「しょぼけ」ているといえるのはアパートのどこですか。本文中から二つぬき出して答えなさい。

問五　――部⑥「もういいって。帰って」とありますが、「私」がそのように発言した理由を六十字程度で答えなさい。

問六　――部⑦「そうじゃないの、あのね、鍋。鍋を用意してあげるのを忘れてた」とありますが、この時の「母」の気持ちの説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　けんかをしたまま娘と別れることはできないと思い、おわびに鍋を買うことで仲直りしたいと思っている。
イ　東京に出てきて一人暮らしを始める娘に、自分だけで料理ができる環境を作ってあげたいと思っている。
ウ　東京での一人暮らしに不安を抱いている娘に、料理を教えることを口実にしてもう一日泊まろうと思っている。
エ　料理をすることに娘が不安を感じているようなので、鍋を買って得意な料理を教えてあげようと思っている。

問七　――部⑨「不釣り合い」とありますが、「不釣り合い」な様子を表す慣用句として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　ちょうちんにつり鐘　　イ　弁慶の泣き所
ウ　取らぬ狸の皮算用　　エ　立て板に水

問八　次の文章は、――部⑧「コートを着た母のうしろ姿が、陽をあびてちかちかと光る」・⑩「母のうしろ姿はあいかわらず陽にさらされてちかちかと光っている」の表現についての小学生と先生の会話である。【X】・【Y】・【Z】に当てはまることばとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度以上用いてはいけません。

小学生「はじめの⑧の表現には、娘が母を見つめて、親の【X】を感じた様子をえがいてるように思いました。それに対して、⑩の表現には、直前に『母に渡された重たい紙袋』と書かれているので、親の思いの【Y】をそのまま正直にえがいたのかなと思いました。」

先　生「⑧については、直後に『私はちいさな子どものように』とあるので、その通りだと思います。ですが、⑩については、少し後で『そんなこと思ったら急に泣き出しそうになった』とあるので、⑧のときの【X】に加えて、「私」が【Z】を感じたことをえがいていると考えたほうがよさそうですね。」

ア　うしろめたさ　　イ　ありがたさ　　ウ　たのもしさ　　エ　わずらわしさ

三、次の①・②の［ア］・［イ］には、【例】のように互いに反対の意味になる二字の熟語が入ります。それぞれ答えなさい。

【例】編集者
「先生の漫画の新キャラクターのデザイン、［ア］的には出来上がってきましたね。」
漫画家
「ありがとう。でも、くつとか手袋とか細かな［イ］はまだまだ練られていないんだ。」
（答え　ア［全体］　イ［部分］）

①野球チームの監督
「なんとか試合には勝ったけど、A投手が一回から投げて、相手の得点をゼロ点におさえてくれるのが、［ア］なんだけどな。」
同じチームのコーチ
「でも、若手選手の育成と考えてみれば、無理してでも最初に他の投手を起用するのが、［イ］的には良い策だと思えますよ。」

②科学者
「今回の実験は［ア］だけみれば、成功したと言えるかな。」
研究員
「そうですね。前回の実験とは条件を変えていないので、成功した［イ］が何なのか、つきとめる必要がありますね。」

四、①～③の各文の（　　）に、後の語群にある漢字を用いた慣用句を答えなさい。ただし、語群の漢字は一度しか使えません。また、答える慣用句は言いきりの形で答えてもかまいません。

① 本当に忙しくて（　　）たい。
② 国語の先生が漢字を書きまちがえるなんて、（　　）とはこのことだな。
③（　　）ほどの給料では何も買うことができないよ。

語群【　馬　猿　虫　猫　雀　】

五、①～④の各――部の言葉は、どこにかかりますか。それぞれ記号で答えなさい。

① ア とても ふしぎな イ 何とも ウ 言えない エ 美しい オ 音楽が カ 聞こえてきた。

② ア どこまで 行っても イ はてしなく ウ ひろがる エ 山の オ 景色を カ テレビで キ 見た。

③ ア 新しい うで時計を イ 百貨店の ウ どこかで エ 落とした オ ことに カ さっき キ 気付いたんだ。

④ ア 朝 起きて イ 近くの ウ 公園まで エ ペットの オ 犬を カ 散歩させるのが キ 私の ク 日課だ。

六、次の――部のカタカナを漢字に改めなさい。

① 運動会の日がカイセイだったのでうれしい。

② 五か国のシュノウが、一堂に会して協議した。

③ 労働した分のチンギンはいただきたいです。

④ ドキョウのある人だから、あの場で言えるのだ。

⑤ 銅のコウザンで労働者として生活を営む。

⑥ 動物園のシイク係になるのが、将来の夢だ。

⑦ 台風の影響で、お盆の帰省にコンランが生じた。

二〇二五年度　三田学園中学校入学試験問題　前期Ａ日程　国　語

解　答　用　紙

（一）

一

問一

問二

問三

A

B

C

問四

（1）

（2）

問五

問六

二

問一

問二

②

④

問三

問四

・

受験番号	
総　点	
評　点	

二〇二五年度　三田学園中学校入学試験問題　前期Ａ日程　国　語

解　答　用　紙

（二）

問五

問六

問七

問八

X

Y

Z

三

①

ア

イ

②

ア

イ

四

①

たい

②

③

五

①

②

③

④

六

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

受験番号	
評　　点	